

高知大学

▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. DMAT、DPAT、医療支援チームの派遣

- ・ 4月16日から5月22日まで、阿蘇地区、西地区等へ、のべ14名派遣した。

派遣先	派遣期間	派遣人数
熊本県菊池市 阿蘇市	4月16日～4月20日	DMAT5名（麻酔科医1名・看護師2名・事務2名）
熊本県阿蘇市	4月20日～4月23日	DMAT5名（麻酔科医1名・看護師2名・薬剤師1名・臨床工学技士1名）
熊本市西区	5月11日～5月15日	2名（精神科医1名・看護師1名）
熊本市西区	5月18日～5月22日	2名（精神科医1名・作業療法士1名）



多機関DMATの連携にはミーティングが重要。 医療ニーズの調査(アセスメント)

2. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	1,878,800円	高知大学

3. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

- ・ 被災地域から帰省・避難している学生・教職員の図書館利用（閲覧室の利用/館内資料の閲覧・貸出/館内資料の複写/他大学への文献複写の依頼/館内検索用PCの利用等）を可能にした。
- ・ 海洋コア総合研究センターは、研究室等が被災し、研究の遂行に支障をきたした研究者（大学院生を含む）が、本拠点における共同利用・共同研究の場の提供を要望した場合は、優先して受け入れることとしている。（往復の旅費等の支給は無し。）また、その他の支援についても相談を受け付けることとしている。

4. 研究活動

- ・ 防災推進センター副センター長の原教授らは、発災直後から産学官で連携しながら現地調査及び研究活動を行い、5月17日に現地調査速報会を開催した。
- ・ 防災推進センター大槻准教授、藤岡講師は、4月22日に必由館高校、熊本学園大学避難所運営の状況について現地調査を行った。
- ・ 防災推進センター笹原教授は、東京大学、労働安全総合研究所や建設コンサルタントと共同で、阿蘇外輪山の斜面災害の拡大に関する調査と計測装置の設置準備を行っている。具体的には現地調査を行い、亀裂の入った不安定斜面の動態観測のサイトの選定を行った。